歌舞伎の魅力伝授

大芝居初出演 中村虎之介さん、琴平小で

四国こんぴら歌舞伎大芝居に初出演している若手役者の中村虎之介さん（21）が12日、琴平小学校（琴平町、岩崎保雄校長）で町内の児童たちを対象に歌舞伎のワークショップを行った。虎之介さんは今回の同大芝居で上演されている演目の解説を行ったほか、女形の姿勢や歩き方の特徴などを実演し、伝統芸能の魅力を伝えた。

ワークショップは町内の子どもたちにも歌舞伎に親しんでもらおうと町教委などが企画。琴平、榎井、象郷の3校の児童計約220人が参加した。

虎之介さんは、歌舞伎について、出雲の阿国という女性から始まったことを紹介。もともと歌舞伎は東京と大阪に分かれて行われていたが、現在は一緒になって公演を行っていると説明した。また、虎之介さん自身が女形を演じる「義経千本桜 すし屋」で登場人物の複雑な相関関係をユーモアたっぷりに解説。「心中月夜星野屋」については男女のだまし合いの場面を分かりやすく伝えた。

女形については「肩甲骨と膝を使って特有の柔らかさを表現する」と実演してコツを〝伝授〟。質疑応答では児童からの「こんぴらのお練りはどうでしたか」「なんで歌舞伎は化粧するの」という質問に、「町の皆さんの元気があって、こんぴらのお練りが一番好き」「化粧は登場人物によって異なる。農民であれば白塗りをしない」と答えた。

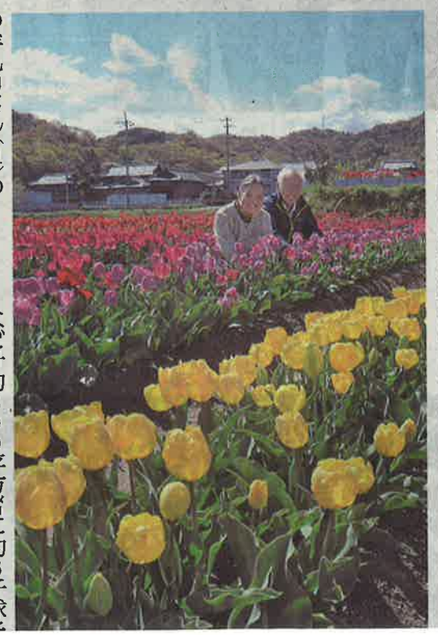
琴平小6年の片山ほのかさん（11）は「役者さん本人からの解説はとても分かりやすく、今回の公演も見に行きたくなった。虎之介さんはすらっとしていて格好良かったです」と喜んでいた。

女形の実演や演目解説

今回の公演で上演されている演目の解説を行う中村虎之介さん＝琴平小

チューリップ3000本鮮やか

高松・牟礼の愛好家宅



高松市牟礼町の牟礼勇さん（71）の畑で、約3千本のチューリップが見頃を迎えている。田園風景を彩る色とりどりの花が地域住民らの目を楽しませている＝写真＝。花を楽しめるのは15日ごろまで。

牟礼さん宅では、妻・昭子さん（70）が毎年チューリップを栽培。当初、庭先などで栽培していたが、年々栽培数が増え、今年は自宅近くの畑など計約300平方㍍に約6千球を植え付けた。

花は今月初めから咲き始め、現在ピンクや黄色など約3千本が陽光を浴びて鮮やかさを増しながら、風にそよいでいる。牟礼さん夫妻は「目に来てくれた人の笑顔と来年への期待の声に元気をもらう。これからも頑張って栽培したい」と笑顔で話していた。

2画家 植物対照的に

きょうから春の特別展

東山魁夷美術館

県立東山魁夷せとうち美術館の春の特別展「植物の力―拡大する日本画 岩田壮平 浅見貴子」（同館主催、四国新聞社など共催）が13日に開幕するのを前に、開展式と内覧会が12日、坂出市沙弥島の同館であった。現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2019」が26日に開幕するのに合わせ、現代日本画壇で注目を集める2人に迫る特別展。対照的ともいえる世界観や技法で植物を表現した作品の数々を来場者はじっくりと鑑賞した。6月2日まで。

対照的な世界観や技法で植物を描いた日本画が並ぶ特別展。写真上は岩田壮平さん、同下は浅見貴子さんの作品を鑑賞する来場者―坂出市沙弥島、県立東山魁夷せとうち美術館

同展では、魁夷の名を冠した日本画展で岩田さんと浅見さんが大賞に輝いた作品を中心に、前期と後期合わせて22点が展示される。岩田さんは琳派が用いた「たらし込み」の技法で、浅見さんは和紙の裏から墨を重ね、墨跡の濃淡で立体感を表現する独自の技法で植物を描いている。

開展式には出品した2人が出席。浅見さんは、普段なら2人の作品発表の場が異なることに触れ「自分たちでは出合えない作品展になった」とあいさつ。続く内覧会では岩田さんが自作について「幼少期に感じた花の生命力や驚きを表現している」と解説した。

内覧会に訪れた同市の吉田英子さん（71）は「岩田さんの絵は赤色が印象的で、エネルギーを感じる。浅見さんの白と黒で植物を描いた作品には深みがあり、どちらも魅力的」と感想を語った。

前期（13日～5月7日）は1階に浅見さん、2階に岩田さんの作品を配置。後期（5月10日～6月2日）は展示階と作品の一部を入れ替える。

東予の魅力見に来てね

イベントPR隊が来社

愛媛県の東予東部で20日に開幕するエリア初の広域振興イベント「えひめさんさん物語」のPRキャラバン隊が12日、高松市中野町の四国新聞社を訪れ、来場を呼び掛けた＝写真＝。

同イベントは、新居浜、西条、四国中央の3市を舞

園児と満開の桜楽しむ

小豆島 老健施設のお年寄りら

小豆島町池田の介護老人保健施設「豊寿園」（大平敏男施設長）のお年寄りらが12日、同町中山の殿川ダム前広場で恒例の花見会を楽しんだ。

花見会は、外出する機会の少ない入所者らに屋外で気分転換を図ってもらおうと、町社会福祉協議会などの協力を得て毎年開催。同広場の桜はちょうど満開で、この日は天候にも恵まれて絶好の花見日和となった。

参加したのは、施設の入所者やデイケア利用者約50人に職員、ボランティアを含めた計約100人。お年寄りらはまず、せいけんこども園（同町草壁本町）の5歳児36人による歌やダ

歌とダンスの披露を終えた園児たちと交流するお年寄りら＝小豆島町中山、殿川ダム前広場